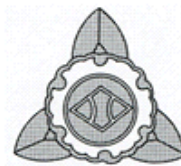


小須戸小学校だより

NO. 1

令和2年 4月22日(水) 発行



『愛』と『信頼』に裏付けられた教育の実現を目指して iKosudo

校長 中林 浩子

令和2年度がスタートしました。お子さまの進級・進学おめでとうございます。子供たちは、新しい出会い、新しい学び、新しい世界への一步を踏み出しました。

4月7日、子供たちの笑顔と元気な笑い声、弾むような足音が学校に戻ってきました。新型コロナウイルス感染防止等、様々な制約がある中でも、子供たちは元気に学び、グラウンドや体育館を走り回っています。この希望に溢れた子供たちの表情は、私たち小須戸小学校の教育に携わる全教職員にも幸せを運んでくれています。

この子供たちが、夢を膨らませ、瞳の輝きを失うことなく健やかに成長していけるよう、地域の宝である子供たちを、保護者・地域の皆様とも手を携え、すべての教職員一丸となって教育活動を進めてまいります。そして、保護者や地域の皆様の信頼に応えることができる学校づくりに努めてまいります。

今年度、本校は、新1年生36名を迎え、全校児童数は237名、学級数は、あおぞら学級2学級、通常学級9学級の合計11学級、教職員数25名で出発しました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の脅威はとどまるところを知らず、全国緊急事態宣言を受け、残念ながら、学校は明日より再び臨時休校となります。

各学年部には、この危機こそ、「これからの社会を生き抜く力を育むチャンス」と捉え、子供自身が、その子供なりに、今の危機的状況を理解し、『自分は何をするのか。』『どういう生活を送るのか。』を考える時間を取り、休校中の過ごし方について、自分で一日の生活をマネジメントする「マイ・プラン」を立てる時間を設けてほしいと話しました。

マイプランで子供自身が考えるポイントは、本日配付した「緊急事態宣言に伴う学校対応について（ご連絡）」の（1）児童への指導事項をご確認ください。大人が言っているから、先生から言われたからやるのではなく、世界が危機に瀕している今の現状を子供なりに感じとり、前向きに自分が出来ることに取り組む2週間を過ごしてほしいと願っています。

私たちは、一人では生きられません。今、自分が感染しないように規則正しい生活を送り、自宅でできる体力づくりをし、家族のために手伝いをし、自分の得意なことにとことん取り組むこと。これが互いに支え合うことであり、こういった自覚ある行動が、自分を守り、家族を守り、友だちを守ることに繋がります。

また、これは、本校の教育目標「よく考え、助け合う子ども」の姿であるとも言えます。

是非、ご家庭でも休校中の過ごし方について、お子さんが考えた「マイ・プラン」を確認し、お子さん自身で決めたことが実行できるよう励ましや応援をお願いします。私たち教職員も感染しないよう自覚ある行動をしてこの2週間を過ごします。

お互いに元気に2週間を乗り切り、5月11日に、また、笑顔で会いましょう！